

◎ 山崎豊子 生誕100年記念

堺ゆかりの作家・山崎豊子さん。2013年に亡くなるまでの約50年間を堺市西区で過ごされました。生誕100年を記念し、山崎さんの人生を振り返る展示や作品の映画上映会を開催します。

問 文化課 (☎228-7143 FAX228-8174)



作家・山崎豊子

「白い巨塔」などの作者として知られていますが、その後半生を堺で過ごされたことは、あまり知られていません。1924年に、大阪・船場の老舗昆布屋の長女として生まれ、新聞記者として勤務する傍ら作家活動を開始しました。後に作家活動に専念し、現在の西区浜寺昭和町に移り2013年に約束の海の連載を開始し、亡くなる直前まで執筆活動を続けられました。

堺市との関わり

小さい頃から堺市にゆかりがあり、浜寺水練学校に通っていたことが分かっています。また、戦争中の山崎さんの日記には、浜寺に避難してきた様子が書かれています。



イメージ

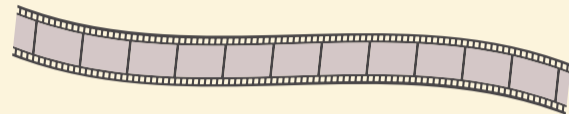


代表作品

社会的に大きな影響を与え、作品の多くが映像化されています。



作品名	出版年
白い巨塔	1965年
華麗なる一族	1973年
大地の子	1991年
沈まぬ太陽	1999年



▶映画 沈まぬ太陽 上映会



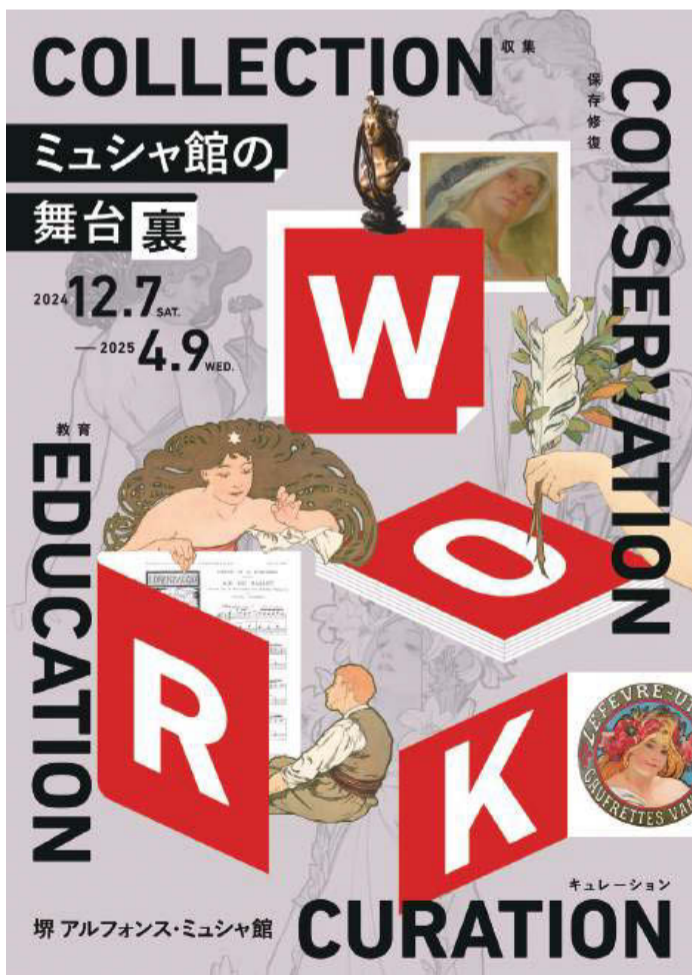
日程 12月28日、1月5日
13時から
場所 ウェステイ
(西区鳳東町6丁600)

▶パネル展

浜寺での生活の様子や、直筆原稿をパネルにしたものを見ることができます。

さかい利晶の杜 (堺区宿院町西2丁1-1)	12月13日まで
西区役所	12月16日～1月10日 (12月29日～1月4日を除く)

◎ ミュシャ館の舞台裏をのぞいてみませんか



企画展「ミュシャ館の舞台裏」

ーミュシャの専門ミュージアムー 美術館の仕事を徹底解剖!?

多彩なコレクションを紹介しつつ、ミュシャ館を例に美術館の仕事に注目し、その裏側に光を当てます。

日程 12月7日～4月9日 (12月29日～1月3日は休館)

場所 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市駅前) **有料** 観覧料

見どころ① 収集

ミュシャ館の成り立ちや歴史、同館が誇る世界有数の多様なコレクションの数々が見られます。

見どころ② 保存修復

100年後、1000年後にもミュシャの魅力伝えるために、作品の劣化を最小限に抑え、現状を保つ様子を紹介します。

見どころ③ 教育

子どもたちが芸術にふれる取組を紹介します。

見どころ④ キュレーション

過去10年間の企画展ポスターを一挙に展示します。

体験コーナー ミュシャ展をつくってみよう

ミニチュア・ミュシャ館を使って、学芸員になったつもりで展覧会を作る体験ができます。

【イベント情報】

12/15 14時から・先着順

トークイベント

学芸員に聞いてみよう

来館者から寄せられた同館への質問に学芸員が答えます。

1/11 14～15時30分・先着順

トークイベント

ミュシャ・コレクションの収集秘話

ミュシャ館コレクションの前身であるドイコレクション収集に携わった尾形寿行さんから同館コレクション収集の舞台裏の話をお聞かせします。

堺 アルフォンス・ミュシャ館

アル・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ(1860-1939)の初期から晩年までの豊富なコレクションを所蔵。年3回企画展を開催し、テーマを変えて違った視点でミュシャの作品を紹介しています。



問 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (☎222-5533 FAX222-6833)